

6月号 2025年6月23日発行 No.265 運営通信

この「運営通信」は、総代の皆さんに毎月の生協の事業や活動、経営に関する情報をお伝えするためにお届けしています。

第4回通常総代会を開催、全議案が可決・承認されました

2025年6月18日(水)、第4回通常総代会が富山国際会議場(富山市大手町)3階メインホールで開催されました。

総代数395名中、本人出席113名、委任状による代理人出席1名、書面議決書による出席279名の計393名の総代にご出席いただきました。

今回の通常総代会では7つの議案が提案・討議され、採決の結果、全ての議案が賛成多数で可決承認されました。(当日の様子はとやま生協のHPでもご報告しております。)

議案		採決結果
第1号議案	2024年度活動報告および決算関係書類承認の件 監査報告	賛成多数で可決・承認
第2号議案	2025年度活動方針および事業計画決定の件	賛成多数で可決・承認
第3号議案	第2次中期経営計画決定の件	賛成多数で可決・承認
第4号議案	定款の一部変更の件	出席総代の3分の2以上の賛成多数で可決・承認
第5号議案	役員選任の件	賛成多数で可決・承認
第6号議案	役員報酬決定の件	賛成多数で可決・承認
第7号議案	制度廃止に伴う役員退職慰労金支給の件	賛成多数で可決・承認



寺岡理事長挨拶



採決の様子

第4回通常総代会の中で寺岡理事長は「2025年度は第2次中期経営計画がスタートする年。また、2度目の国際協同組合年であり、被爆・終戦から80年の節目の年。住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる社会づくりをさらに前進させていきたい。事業関連費用の高騰により厳しい経営環境の中での事業展開となるが、組合員の声に耳を傾け、「食の安全・安心とくらしの安心」「組合員の参加参画」「組合員へのお役立ち」「職員の成長と安定した経営」についてより一層高め、協同組合の価値を組合員の皆さんが実感できるよう挑戦していきたい。」と挨拶しました。

会場にご出席いただきました皆様、また、委任状による代理人出席・書面議決書にてご出席いただきました皆様、ありがとうございました。

【目次】

1、第4回通常総代会を開催、全議案が可決・承認されました・・・	表紙
2、「スマイルコープ」特大号(増ページ)のご案内・・・	P 2
3、稲作体験プロジェクト(田植え編)を開催しました・・・	P 2
4、理事会だより、経営実績報告・・・	P 3
5、重点課題で取り組むこと・・・	P 3
6、CO・OPきょうどう店建設工事が進んでいます・・・	P 4
7、4回目のボランティアバスを運行しました・・・	P 4
8、石川県・市町社協 & 全国生協協働企画に参加します・・・	P 4

とやま生活協同組合

<https://www.toyama.coop/>

富山市金屋555

フリーダイヤル

☎: 0120-555-192

発行: 経営企画G



とやませいきょう

「スマイルコープ」特大号(増ページ)のご案内

「スマイルコープ」は、「富山県や近隣地域の地産商品を多く取り扱うとやま生協オリジナルの商品カタログです。

2025年度は年4回、ページを増やした特大号を発行し、おすすめしたい商品をピックアップして詳しくご紹介したり、商品の活用術や安全レポートなどの情報を掲載し、さらなる生協商品ファン拡大を目指します。

最初の特大号 6月2回企画カタログでは、とやま生協PB商品「たけしま食品(富山市八尾町)富山県産大豆絹豆腐」「徳永食品(射水市)じっくり煮込んだ煮豚くん」をピックアップ(①)、その他「冷凍弁当の定期登録案内」(②)、「チケット販売企画」、「食の安全・安心取り組みレポート」をお届けしました。



6月2回 増ページ(スマイルコープ P16、P17)



次回の特大号(9月2回)では・・・

●4月からPB商品となった南日醤油味噌株式会社(富山市)の『さくらみそ』をピックアップしてご紹介します。



●社会福祉法人 めひの野園(本部:富山市)「飛騨流葉牧場」で生産されている飛騨地鶏を新企画でご紹介。



●5(ファイブ:射水市)のパンの定期便を新たに企画します!



次回特大号をお楽しみに☺

稲作体験プロジェクト(田植え編)を開催しました

5月25日(日)、とやま生協のお取引先である滑川市の上梅沢有機米生産者・前佛(ぜんぶつ)さんの田んぼで「稲作体験プロジェクト(田植え編)」を開催しました。

このプロジェクトは田植えから収穫までの体験を通して、お米が育つ過程を学ぶ食育体験企画です。

今回参加した皆さんは、田植えを初めて体験する方がほとんどで、はじめに前佛さんから苗の持ち方や植え方、泥の中での足の運び方などを教わりました。

前佛さんが事前に植える位置に印をつけておいてくださった田んぼに恐る恐る入り、田植えがスタート。

前日に降雨があり、当日の田んぼには水が溜まって泥につけた印が見えづらく、植えるのがやや難しい場所もありましたが、参加者は印を探しながらゆっくり植えたり、コツをつかんでどんどん植えていったり、小さな子供たちは親御さんからアドバイスをもらいながら一生懸命に植えていました。

協力して田植えを終えたあとは、前佛さんからお米作りや有機米について教えていただきました。



上手に植えることが出来ました



稲作体験プログラム(田植え編)参加者(組合員親子14組48名参加)

◇話し合われたこと

(承認事項)

- 2025年度4月度の事業・活動および経営報告の件
- 役員人事委員会答申
 - 推薦決定する役員補充選任候補者の追加の件
 - 役員報酬額決定の件
 - 制度廃止に伴う役員退職慰労金支給の件
- 第4回通常総代会議案書承認の件
 - 監査報告の件【関連報告】2025年度春のブロック総代会議開催報告
- 対外総会議決判断の件
- 職位決裁権限基準改訂の件

(確認事項)

- 2024年度期末監査指摘事項等対応方針の件
- 第4回通常総代会当日運営の件
- 第5期総代選挙実施の件

◇4月度 事業・経営報告

(全体経営報告)

- 総事業高は14億3,889万円で、予算比 99.3%、予算差-960万円です。
- 経常剰余金は-1,155万円で、予算差-929万円の実績です。

(機関運営、組合員活動報告等)

- 3月に引き続き、3回目の復興支援ボランティア登録者によるボランティア活動を4月26日(土)に氷見市で行いました。組合員11名、職員6名の計17名が参加しました。
- 組合員活動参加は、ブロック協議会・委員会に127名が参加、32地域会で193名、せいきょうクラブ8回で45名の参加がありました。主な活動では、ミャンマー地震緊急募金に取り組み、3,017名から303万600円の募金が寄せられました。

重点課題で取り組むこと

◆食の安全・安心、くらしの安心 品質強化月間(5月～9月)の取り組み

気温や湿度が高くなる5月～9月を「品質管理強化月間」として、お申し出の発生を防ぐための取り組みを行っています。

～具体的な取り組み～

- 過去のお申し出発生件数や発生率が高かった農産品を対象に、収穫から配送センター納品までの工程を管理表に基づいて調査・点検します。(チェックポイント①②③④)
- 配送担当者の冷凍仕分け手順の実施状況を点検します。組合員の帰宅時間調査を実施し、受け取りに合わせた品温管理に努めます。(チェックポイント⑤)
- 啓発活動として、食中毒の予防や品質維持の取り組みを「食の安心安全レポート」「あんあんニュース」(機関誌)リアン、HP等に掲載)でお知らせします。

チェックポイント①入荷時
入荷した商品を3つの温度帯(常温・冷蔵・冷凍)に保たれた場所へ仕分けします。

基準の温度を超えていないかチェック!



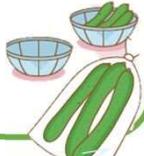
チェックポイント②一時保管
冷蔵・冷凍品は温度が管理された部屋(冷蔵室・冷凍室)で保管。また農産品はそれぞれが適温で保管できるように工夫しています。

温度設定が適切(冷蔵室:10℃以下、冷凍室:-18℃以下)かどうかを定期的にチェック!



チェックポイント③農産品の袋詰め
規格に合わせて袋に詰めていきます。結露が生じたり土埃などの混入を防ぐため農産品に応じて作業エリアを分けています。

傷みや腐り、カビが生えていないかなどをチェック!



チェックポイント④仕分け
組合員ごとにそれぞれの温度帯で注文商品を分け、つぶれないよう重いものや大きなものから順番にシッパー(保冷箱)へ詰めていきます。蓄冷剤は気温に応じて入れる枚数を調整しています。

商品を詰める前に通い箱やシッパー・蓄冷剤に汚れ・破損がないかを確認!



チェックポイント⑤お届け
冷凍品はシッパー(保冷箱)に移し替えます。組合員の帰宅時間に合わせて、冷凍蓄冷剤の投入枚数を調整します。

冷凍品を移し替える際に溶けていないかを確認! 配送担当者がチェック!



CO・OPきょうどう店 建設工事が進んでいます

2月から始まった建設工事は、建設地の基礎工事・地盤づくりを終え、GW明け頃からは骨組み工事が始まりました。2階部分の鉄骨が組み立てられ、建物の全体の大きさが分かるようになりました。

店舗2階部分には、イートインスペースやキッズコーナー、組合員活動などイベントが開催できる交流スペースが設けられます。お買い物だけでなく、地域の皆さんが集まって楽しめるお店になるよう準備を進めています。



4回目のボランティアバスを運行しました



復興支援ボランティア登録をされた組合員5名と職員7名の計12名（その他含めて全体41名参加）で、5月24日（土）に氷見市内でのボランティア活動を行いました。

前回と同様、公費解体が決まっているお宅の片づけで、前日にも別のボランティアの方が作業に入り1階部分の片づけが終了しているという事で、2階部分の片づけを依頼されました。みんなで協力して家財を要る物と要らない物に分別し、不用品をトラックに積み込んで午前2回、午後には3回災害ゴミ回収場所へ運びました。

参加者の感想

- ・ 家主さんも一緒に作業され、ひたすら分別と運び出しの1日でした。それでも、だんだん片付いていくとスッキリしてきて、新しい生活に向かって進んでいる感じでした。
- ・ 和気あいあいと活動できて良かったです。被災された方が次の一歩を踏み出すためには、この家財を分別して（ゴミとして）出すことが役に立つことなのだ、と納得しました。



タンスの中の分別作業



2階の片付け作業



今回のボランティアに参加したメンバー

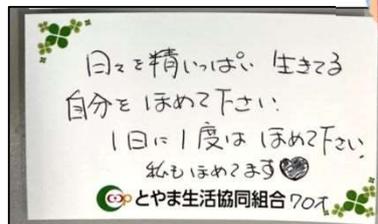
石川県・市町社協と全国生協との協働企画に参加します

石川県南9市町（広域避難者）への取り組み

能登半島地震で被災した後、金沢市・小松市・加賀市・かほく市・白山市・能美市・野々市市・川北町・津幡町に避難され、「みなし仮設住宅」「公営住宅」にお住まいの広域避難者が多数おられます。住み慣れた能登を離れ、知り合いも少ない町での生活が1年以上続き、自宅の再建をどうしようか、戻ろうか等、先行きの不安を抱えている方も多いためです。またメンタル面の問題も懸念されています。

そこで日用品・雑貨品などを全国各生協で選定して、その商品と一緒にメッセージカードを添えてプレゼントし、離れていても全国から応援の「思い」を伝える取り組みに参加します。

石川県社会福祉協議会が指定する地域に6月下旬発送予定です。



ブロック総代会議にご参加いただいた総代さんに応援メッセージを書いていただきました

とやま生協からの選定プレゼント



今後被災した石川県10市町社協との取り組みも進めてまいります。